



福山市立大成館中学校
大中だより

2018(平成30)年
1月9日
No. 12
校長 小寺和宏

平成29年度3学期始業式 式辞

2018年(平成30年)がスタートしました。

2学期終業式で「ヤマメとサクラマス」の話をしましたが、皆さんにとって平成30年という年がサクラマスのようにグーンと大きく成長できる1年であることを期待しています。

さて、昨年12月26日(火)に新人駅伝が竹ヶ端運動公園陸上競技場で開催され本校からも男女陸上部、サッカー部、野球部、男子バスケット部、女子バレー部、女子テニス部が参加しました。

それぞれに日頃の練習の成果をいかんなく発揮してくれました。

学校対抗駅伝では見事男子が優勝、女子も堂々の3位でした。

本当によく頑張りました。

校長先生は新人駅伝大会の翌々日に学校の廊下で学校対抗駅伝で選手のサポートをしていた生徒とすれ違いました。その際に「新人駅伝よく頑張ったね。おめでとう」と声をかけました。すると少し間をおいて「ありがとうございました。でも僕は選手ではなかったの・・・」と少し申し訳なさそうな表情で挨拶してくれました。優勝した喜びは大きいものの、駅伝大会に選手として出場できなかった悔しさ等で複雑な心境だろうと思い「そうか。でもね。君は選手が走っている間一生懸命に選手の身のまわりのことをし、走り終えた選手に声をかけながら上着を渡していたね。その一生懸命な姿は素晴らしいと思ったよ。まわりのサポートがあって選手は頑張ることができるのだから全員の勝利だよ」と話しました。

他の人のために、自分の課題や弱点を克服するためにまわりの目にふれないところで頑張る姿はとても素晴らしく尊いものだと思います。長い人生をより幸せに送るために最も大切な力かもしれません。

人が見ている、見ていないことで態度を変えたり、失敗や挫折を他人や環境のせいにしてしまったりしてあきらめてしまうことがあると思います。しかし、そんなことを繰り返している間は人としての成長は期待できません。成長どころか後退してしまいます。

この3学期是非とも、他の人のために、自分のために密かに頑張ることを見つけてください。何か一つでいいので徹底して密かに頑張ってみてください。一つが二つ三つになり人として大きく成長します。

3年生の皆さんは、この3学期に自身の進路を決定することになります。人生の大きな節目の時となります。

第1希望通りの進路になる場合も、ならない場合もあります。現実と向き合わなければいけません。

希望通りになったからといって有頂天にならず、希望通りにならなかったといって深く落ち込むことなく自分自身の進路をしっかりと見つめてほしいと思います。3年生の皆さんにとって高校等に合格することがゴールではありません。高校等に合格することは3年生の皆さんにとっての新たなスタートです。

お互い不安を抱えながらの3学期になるので、同じ立場の仲間としてお互いに思いやりを持って頑張してほしいと思います。こんな時こそ感謝する気持ちが進路に立ち向かう大きなエネルギーになります。

2年生の皆さんにとって3学期は大成館中学校の中核として、また、中学校最後の1年を迎える準備の学期として大切な時期になります。3年生になったら「授業を大切にしよう」、「仲間を大切にしよう」、「部活を頑張ろう」、「宿題を忘れないようにしよう」、「掃除を頑張ろう」と思っている人は恐らく何もしないままに卒業式を迎えます。3年生になってからではなく、この3学期から頑張ってみてください。出遅れないようにしてください。

1年生の皆さんは、3学期を終えると新入生が入学してきます。今の自分が新入生から尊敬される「先輩」であるかどうかを振り返り、不十分な点があればこの3学期に課題を克服してください。平成30年度の後半は皆さんが大成館中学校の中核になります。うかうかしている時間はありません。

3学期はまとめの学期であると同時に、新たなスタートの準備の学期です。

目指すは今以上の未来です。欲張らず明日は今日より一歩前進です。共に頑張らしましょう。